

<6月1日更新>

コトヌ空港における全ての入国者に対する 新型コロナウイルス検査の手続き

2020年5月13日以降、コトヌ空港において、入国時、全ての渡航者に対してRDT検査(抗体検査)及び2回のPCR検査(入国時及び入国14日後)が行われてきましたが、RDT検査及び入国14日後のPCR検査については終了しました。また、当局による旅券の預かり措置についても終了しています。

引き続き、ベナンに出入国する渡航者は、事前に[衛生管理オンライン・フォーム](#)で渡航者情報やフライト情報を登録し、PCR検査費用をオンライン精算しなければなりません。

空港到着時における現行手続きの流れについては、以下に最新の情報を取りまとめましたのでご確認ください。

【手続きの流れ】

1. 機内にて

- (1) 旅客に対し、人定事項等の記入用紙が配付される。
- (2) 同用紙に、人定事項、ベナンの住所やホテル等の滞在先及び連絡先、同伴者情報を記入する。
- (3) 機内で用紙を回収するので提出する。

※用紙の配布がない等、各航空会社で対応が異なる場合がある。

2. 着陸後

乗継ぎ客、ビジネス客、エコノミー客の順で降機する。

※乗客の中には、対人間隔を特別意識しない者もあり、通路等では密集に注意する必要がある。ベナンでは、1メートル以上の対人間隔確保の遵守が求められる。

3. 降機後

バスで検査場(屋外仮設テント)に移動する。

4. 入場時の検温・消毒の実施

検査場に入場する際、係員が検温を行う。体温に異常があると認められた場合は、現場の係員の指示に従う。

※以前は、検査場に入場する際に自動検温・身体消毒装置を使用し、霧状の次亜塩素酸水が噴出されている小部屋を通過したが、現在は行われていない。

5. 入場後

検査場内は、待合いスペース(手前側)と検査スペース(奥側)に区分けされているが、奥の検査スペースへ進む。

※場内にかかなりの人数が密集する状態となるので注意する必要がある。

6. 検査スペースにて

(1) 検査スペースには、中央に検査待ち用の椅子が並べられ、両サイドに検査ブース計20か所が配置されている。

(2) 入場した順番に、前の者に続いて詰めて椅子に着席する。

<6月1日更新>

- (3) 手元に、衛生管理オンライン・フォームで事前登録した際に発行されるQRコード、検査費用支払い済みの領収書を用意する。
- (4) 数名の受付係員(男性は青色スーツ、女性は青色ドレスを着用)が端末を所持し、前方から順番に受検者の受付に回る。
- (5) 自身の順番になったら、係員にQRコードを提示する。係員が端末でコードを読み込み、氏名等を確認する。
- (6) 次に係員の端末画面に検査番号が表示されるので、自身の携帯電話で番号を写真撮影する。
- (7) 係員が空いている検査ブースを指定するので、移動する。

7. PCR検査の実施

- (1) 検査ブースはパーテーションのみで仕切られている。各ブースにはフェイスシールド及び防護服を着装した検査官2名が待機している。
- (2) 検査官に受付で撮影した検査番号を提示する。検査官が氏名等を確認し、検体採取の説明を行う。
- (3) PCR検査では、綿棒で咽頭をぬぐう。
※現在、一つのブース内において、受検者2名に対して同時に検体採取を行うことはない模様。隣で別の者がPCR検査の検体採取を受けている場合には、その距離に注意する必要がある。

8. 検査終了後

出口の外に待機しているバスに乗車し、到着ターミナルへ向かう。

9. 到着ターミナルにて

- (1) 入場すると、目の前のテーブルに係員がいるので旅券を提示して氏名や電話番号等を伝える。
- (2) 入国審査へ向かう。

10. 入国審査

通常の入国手続きが行われる。

11. 入国審査終了後

入国者はそれぞれの交通手段で自宅または宿泊先に移動することが可能。入国時のPCR検査の結果が判明するまでの間(48～72時間)は自己隔離することが必要となる。

12. PCR検査結果の入手

衛生管理オンライン・フォームから、認証コード及び領収書コードを入力してデータで入手する。検査結果は、必ず保存する。

陽性の場合、SMS等により連絡があり、薬の受領(10日分)等の指示を受ける。

以上

令和3年6月1日
在ベナン日本大使館